

野菜用のセルトレイと移植機を用いたクリーンラーチの挿し木生産

クリーンラーチの挿し木は、挿し床に育苗箱を用いてきました（写真－1）。しかし、幼苗を苗畑に床替える過程で、土を落とし根がむき出し（裸根）になるため、根へのダメージが大きく活着や生育が悪く、床替え床での得苗率は40%にとどまっています。そこで、挿し床に野菜用のセルトレイを用い、土が付いた状態で移植する栽培法を開発しました。

挿し床に用いたセルトレイのうち、ココ繊維とピートモスが混合された培土で発根・生育が良好でした（写真－1、2）。この資材は土が固まった状態（固化培土）でトレイに充填されているため、土詰め作業の省力化、掘り取り選苗作業の軽労化にもつながります。また、セルトレイを用いることにより、野菜用の移植機での床替えが可能になりました（写真－3）。床替え時間を大幅に短縮でき、床替え床での得苗率も80%以上を達成しました（写真－4）。

（育種育苗G 今 博計）



写真－1 従来の育苗箱（左）と新しく採用したセルトレイ（右）



写真－2 セルトレイで育てた幼苗
発根した根が側面から出ている



写真－3 セル幼苗を野菜用移植機で
床替えている様子



写真－4 秋の床替え床の様子

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
ホームページ <https://www.hro.or.jp/fri.html>
facebook <https://www.facebook.com/ringyoshi>

発行年月 令和4年2月
発 行 地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
森林研究本部 林業試験場
〒079-0198 美咲市光珠内町東山